

# 令和7年度 第4回神経研究所所内セミナー

## 遺伝子疾患治療研究部

演者 **伊藤 尚基 先生**



国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター  
ジェロサイエンス研究センター  
中枢性老化-骨格筋代謝-運動機能制御研究プロジェクトチーム  
プロジェクトリーダー

日時：2025年8月8日（金） 15:00～16:00

会場：研究所3号館1階 セミナールーム

参加費：無料

参加方法：直接会場へお越しください

### サルコペニア発症に関わる新しい分子病態について

超高齢社会における日本において、加齢に伴う筋量・筋力の低下（サルコペニア）は喫緊の医学的・経済的課題である。同じ加齢性疾患であるアルツハイマー型認知症の場合、アミロイドβやリン酸化タウタンパク質の蓄積といった分子病態が示されており、認知症発症に関わる分子病態に即したバイオマーカーや介入法の開発が進んでいる。一方、サルコペニアの発症機序にはミトコンドリア異常・内分泌系異常・神経系異常・栄養不全と様々な要因が関わっていると考えられている。これらの要因がサルコペニアに直接的に結びつくものなのか、それとも加齢病態全般に当てはまるものであり、サルコペニアに間接的に関わるものなのか、といった点は明らかになっていない。つまり、"サルコペニア発症に関わる直接的な分子病態が存在するのか？"という問いに対する答えは未だ得られていない。そこで本発表ではサルコペニア発症に関わる新しい分子病態、およびその分子病態に即した介入法開発に関する最新の知見についてご紹介したい。



国立研究開発法人 国立・精神神経医療研究センター  
神経研究所 遺伝子疾患治療研究部 青木 吉嗣  
お問い合わせ 遺伝子疾患治療研究部 寺村・小野（内線2911）